

令和3年3月 第1回佐々町議会定例会 会議録（5日目）

1. 招集年月日 令和3年3月9日（火曜日） 午前10時00分

2. 場 所 佐々町役場 3階 議場

3. 開 議 令和3年3月19日（金曜日） 午前10時00分

4. 出席議員（10名）

議席番号	氏 名	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
1	須藤敏規君	2	浜野 亘君	3	永田勝美君
4	長谷川忠君	5	阿部 豊君	6	永安文男君
7	橋本義雄君	8	平田康範君	9	淡田邦夫君
10	川副善敬君				

5. 欠席議員（なし）

6. 法第121条による説明のための出席者職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	古庄 剛君	副 町 長	中村義治君	教 育 長	黒川雅孝君
総務理事兼 事業理事	松本孝雄君	総務課長	山本勝憲君	企画財政課長	藤永大治君
税 務 課 長	大平弘明君	住民福祉課長	今道晋次君	保険環境課長	安達伸男君
建 設 課 長	川崎順二君	産業経済課長	藤永尊生君	水道課長	橋川貴月君
会 計 管 理 者	内田明文君	教 育 次 長	水本淳一君	農業委員会事務局長	金子 剛君

7. 職務のための出席者職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
議会事務局長	松本典子君	議会事務局書記	濱野 聡君

8. 本日の会議に付した案件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第21号 令和3年度 佐々町一般会計予算

日程第3 議案第22号 令和3年度 佐々町国民健康保険特別会計予算

日程第4 議案第23号 令和3年度 佐々町介護保険特別会計予算

9. 審議の経過

（10時00分 開議）

— 開議 —

議長（川副 善敬 君）

皆さん、おはようございます。

本日は、令和3年3月第1回佐々町議会定例会の本会議の5日目です。

本日の出席議員は全員出席です。

これから本日の会議を開きます。

— 日程第1 会議録署名議員の指名 —

議長（川副 善敬 君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則の規定によって、5番、阿部豊君、6番、永安文男君を指名します。

議員の皆さんに質疑についてお知らせをしておきます。

まず、歳出のほうから行いますが、歳出の40ページ議会費から70ページの監査委員費まで、次に70ページの民生費から100ページの労働費まで、次に101ページの農林水産業費から131ページの消防費まで、次に131ページ教育費から175ページ予備費まで、歳出について質疑を行います。

最後に、歳入歳出全般の総括質疑を行います。

以上、報告しましたとおり、それぞれ分けて質疑を行いたいと思います。

— 日程第2 議案第21号 令和3年度 佐々町一般会計予算 —

議長（川副 善敬 君）

日程第2、議案第21号 令和3年度佐々町一般会計予算を議題とします。

1ページ、第1表歳入歳出予算から、8ページ、第3表地方債まで朗読説明をお願いします。

その後、主なものについて説明をお願いいたします。

執行の説明を求めます。

企画財政課長。

企画財政課長（藤永 大治 君）

1ページをお願いいたします。

第1表歳入歳出予算。歳入。

1 款町税、金額14億7,537万9,000円。1 項町民税 6 億7,211万1,000円。2 項固定資産税、金額 6 億5,316万2,000円。3 項軽自動車税、金額4,910万6,000円。4 項町たばこ税、金額 1 億100 万円。

2 款地方譲与税、金額5,203万6,000円。1 項地方揮発油譲与税、金額1,200万円。2 項自動車重量譲与税、金額3,600万円。3 項森林環境譲与税、金額403万6,000円。

3 款利子割交付金、金額60万円。1 項利子割交付金、同額です。

4 款配当割交付金、金額200万円。1 項配当割交付金、同額です。

5 款株式等譲渡所得割交付金、金額100万円。1 項株式等譲渡所得割交付金、同額です。

6 款法人事業税交付金、金額1,540万円。1 項法人事業税交付金、同額です。

7 款地方消費税交付金、金額 2 億8,800万円。1 項地方消費税交付金、同額です。

8 款環境性能割交付金、金額200万円。1 項環境性能割交付金、同額です。

9 款地方特例交付金、金額2,999万6,000円。1 項地方特例交付金、金額1,749万6,000円。
次のページをお願いいたします。

2 項新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金、金額1,250万円。

10 款地方交付税、金額15億6,400万円。1 項地方交付税、同額です。

11 款交通安全対策特別交付金、金額150万円。1 項交通安全対策特別交付金、同額です。

12 款分担金及び負担金、金額5,147万3,000円。1 項負担金、同額です。

13 款使用料及び手数料、金額2億84万8,000円。1 項使用料、金額1億5,770万9,000円。2 項
手数料、金額4,313万9,000円。

14 款国庫支出金、金額8億3,644万9,000円。1 項国庫負担金、金額7億338万1,000円。2 項
国庫補助金、金額1億3,002万5,000円。3 項委託金、金額304万3,000円。

15 款県支出金、金額5億8,673万7,000円。1 項県負担金、金額3億4,922万2,000円。2 項県
補助金、金額1億9,665万2,000円。3 項委託金、金額4,086万3,000円。

16 款財産収入、金額2,033万3,000円。1 項財産運用収入、金額1,619万5,000円。2 項財産売
払収入、金額413万8,000円。

17 款寄附金、金額900万2,000円。1 項寄附金、同額です。

3 ページをお願いいたします。

18 款繰入金、金額3億3,692万5,000円。1 項基金繰入金、同額です。

19 款繰越金、金額6,000万円。1 項繰越金、同額です。

20 款諸収入、金額1億4,302万2,000円。1 項延滞金、加算金及び過料、金額125万円。2 項預
金利子6,000円。3 項貸付金元利収入、金額5,000万円。4 項雑入、金額9,176万6,000円。

21 款町債、金額3億6,930万円。1 項町債、同額です。

歳入合計60億4,600万円。

4 ページをお願いいたします。

歳出。1 款議会費、金額7,365万3,000円。1 項議会費、同額です。

2 款総務費、金額6億7,691万6,000円。1 項総務管理費、金額5億1,541万4,000円。2 項徴
税費、金額7,300万3,000円。3 項戸籍住民基本台帳費、金額4,836万5,000円。4 項選挙費、金
額3,704万6,000円。5 項統計調査費、金額66万7,000円。6 項監査委員費、金額242万1,000円。

3 款民生費、金額19億8,177万8,000円。1 項社会福祉費、金額8億20万1,000円。2 項児童福
祉費、金額11億8,137万7,000円。3 項災害救助費、金額20万円。

4 款衛生費、金額7億6,601万9,000円。1 項保健衛生費、金額4億1,756万6,000円。2 項清
掃費、金額3億4,183万9,000円。3 項診療所費、金額661万4,000円。

5 款労働費、金額47万円。1 項労働諸費、同額です。

6 款農林水産業費、金額2億9,425万5,000円。1 項農業費、金額2億8,872万3,000円。2 項
林業費、金額533万2,000円。3 項水産業費、金額20万円。

7 款商工費、金額1億2,614万6,000円。1 項商工費、同額です。

5 ページをお願いいたします。

8 款土木費、金額5億9,963万3,000円。1 項土木管理費、金額9,081万4,000円。2 項道路橋
梁費、金額6,790万4,000円。3 項河川費3万1,000円。4 項港湾費、金額171万円。5 項都市計
画費、金額4億452万3,000円。6 項住宅費、金額3,465万1,000円。

9 款消防費、金額2億983万円。1 項消防費、同額です。

10 款教育費、金額6億2,065万6,000円。1 項教育総務費、金額1億2,458万5,000円。2 項小
学校費、金額1億4,061万4,000円。3 項中学校費、金額8,306万8,000円。4 項幼稚園費、金額
1億2,035万8,000円。5 項社会教育費、金額1億1,743万8,000円。6 項保健体育費、金額3,459
万3,000円。

11 款災害復旧費、金額1,403万2,000円。1 項農林水産施設災害復旧費、金額343万2,000円、

2項公共土木施設災害復旧費、金額1,060万円。

12款公債費、金額5億3,592万4,000円。1項公債費、同額です。

13款諸支出金、金額2,883万9,000円。1項基金費、同額です。

6ページをお願いいたします。

14款予備費、金額1億1,784万9,000円。1項予備費、同額です。

歳出合計、金額60億4,600万円。

7ページをお願いいたします。

第2表債務負担行為。

事項、高速カラー印刷機リース料（令和3年度導入）、期間、令和4年度から令和8年度まで、限度額307万4,000円。

事項、固定資産土地評価業務委託料、期間、令和4年度から令和5年度まで、限度額2,900万円。

事項、戸籍総合システムリース料（令和3年度導入）、期間、令和4年度から令和8年度まで、限度額1,555万9,000円。

事項、未永団地白蟻防除点検業務委託料、期間、令和4年度から令和8年度まで、限度額253万3,000円。

事項、図書館支援システムリース料、期間、令和4年度から令和8年度まで、限度額554万4,000円。

8ページをお願いいたします。

第3表地方債。

起債の目的、臨時財政対策債、限度額2億7,000万円。起債の方法、普通貸借又は証券発行。利率、年2.0%以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）。償還の方法、政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協議する。ただし、町財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借り換えすることができる。

起債の目的、（公共施設等適正管理推進事業債）市町村役場機能緊急保全事業、限度額4,560万円。

起債の目的、（一般補助施設整備等事業債）農業水路等長寿命化・防災減災事業、限度額3,660万円。

起債の目的、（一般補助施設整備等事業債）地方創生推進交付金事業、限度額1,570万円。

起債の目的、（災害復旧事業債）元年災河川等災害復旧事業、限度額140万円。

以上でございます。よろしくをお願いいたします。

議 長（川副 善敬 君）

これから質疑を行います。

まず、歳出の40ページ議会費から70ページの監査委員費までの質疑を行います。

3番。

3 番（永田 勝美 君）

51ページ、ホームページの維持管理業務委託料というのがありますが、ホームページについては、いろいろ指摘もありますけれども、今回、ホームページのそのデザインっていいですか、等について改善する計画はあるのかということを確認したい。

同じく、51ページの防災行政無線についてなんですけれども、防災行政無線は、現状は非常に音が割れたり、聞きづらいという苦情が非常に多いんですけれども、これの改善に向けて、ちょっと話題に出たデジタル化というのがありましたけれども、デジタル、今の無線設備という

のは、防災無線というのは、いわゆるデジタル無線じゃないのかなというふうに私は思っておったんですが、機能的に、これを大きく改善できる道はあるのかということと、それから、あわせて、特に大雨等のときの室内での大変聞き取りにくいということがありまして、室内、屋内へのそういう緊急放送等の手だてというのは考えられているかということをお聞きしたい。

それから、53ページ、松浦鉄道の連絡協議会負担金がありますけれども、これにかかわって、佐々駅、小浦駅等の松浦線のホームの、MRのホームの、いわゆるバリアフリーの取組というのは、ずっと要望してあったんですけども、その後、どういうふうになっているのか、進んでいるのかということを確認したい。

それから、55ページですけども、ふるさと納税の報償費が計上されておりますが、前年度といたしますか、今度は令和2年度、前年度に比べてふるさと納税大きく減収しておりますけれども、今後、この取組については、どのように考えておられるのかということについて、少し御説明いただきたいと。

以上、4点です。

議長（川副 善敬 君）

企画財政課長。

企画財政課長（藤永 大治 君）

まず1点目のホームページのデザインの改善予定はあるのかというところでございますけれども、トップページ、そのトップページも見やすく、現在、以前のホームページよりかは現在のホームページは、改善をしまして見やすいような改善を図っております。

ただ、そのもう少し情報をすぐ入手できるような工夫を今後はしていかなければならないと担当課では考えております。

それから、2点目の防災行政無線についてですけども、現状では機能的な改善の予定は現状ではありませんけれども、各町内会からの要望に対しましては、スピーカーの向きを変えたりとか、そういうふうなところで対応をしていきたいと考えております。

あとその大雨のときの情報の収集でございますけれども、こちらはメール配信でありますとか、そういうふうなNBC情報でも入手ができるようになっておりますので、それを、現時点ではそれを住民の方に周知を、広報紙等を通じて、今もしておりますけれども、継続して周知を図っていききたいと考えております。

それから、松浦鉄道のバリアフリー、駅舎のバリアフリーのところでございますけれども、以前から要望がありました、その佐々駅のところの階段の手すりという部分も、こちら担当からその松浦鉄道のほうに話をしております。ただ、その現状ではなかなか進んでいないという状況です。

その松浦鉄道の会議のときなんかにも、ずっと松浦鉄道のほうには、話はし続けておる状況でございます。現状は、まだ進んでいないという状況です。

それから、ふるさと納税の今後の取組ということで、現在、去年の実績からすれば、1,300万円か1,500万円程度減の見込みになっております。ですが、今年度になって新しく商品を事業者のほうにお願いして、商品の開発というところで新たにそのふるさと納税のサイトに登録してもらえないかという、そういうふうな働きかけをしまして、少しずつですが、その掲載商品も増えていっているという状況でございます。今後の取組としましても、継続してその新しいふるさと納税の産品としての開発というのに取り組んでいかなければならないと考えております。

以上です。

議 長（川副 善敬 君）
3番。

3 番（永田 勝美 君）

1点、2点目は、現状と大きな変化というのは今のところないということなんですけども、やはり非常に急を要するといいますか、現状の中でそれでは、どのように周知を改善していくのかと。

要するに、防災無線ですから、伝わらないということが、やっぱり一番問題ですから、そこをどう改善するのかということについては、一段の工夫が求められているのではないかとこのことを申し上げておきたいと思います。

それから、3点目のMRのバリアフリー化の問題については、これは、非常に町民の皆さんの安全に関わる問題でもありますし、MRのほうに要望されているというのは分かっているんですけども、これについては、やっぱりちょっと何らかの特段のアクションが必要なのではないかと。

例えば、一定その分の改修を行うために、町としての若干の支出をすとか、そういったことも含めた対応が求められているのではないかとこのことを考えますが、その点いかがでしょうか。

議 長（川副 善敬 君）
町長。

町 長（古庄 剛 君）

これは、我々も役員会がありますので、そういうことでお願いをしているんですけど、なかなか松浦鉄道自体の経済的なものがあるのではないかと考えています。ただ、年次的にやっていくというお話はお聞きしていますので、また、町としましてもお願いをしなければならないと考えていますし、補助的なものができるのかどうかというのをちょっと、そこは中身は検討させていただければと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）
3番。

3 番（永田 勝美 君）

MRの財政は厳しいというのは、このコロナの問題もありますから、ますます厳しいといった状況なども分かっているんですけども、ただ、そのこととなかなか引換えにできない問題ってありますよね。

こちらの問題ではないですけども、東京で地下鉄で、ホームドアが建設中に視力障害者の方が転落して死亡されるという事故が起きる。その何か月か後には、そのホームドア完成したというようなことがありました。

だから、やっぱり急がれる課題なんだろうというふうに思うんです。それで、特に階段に手すりもないというような状況は、やはり早急に改善すべきではないかというふうに思いますし、その費用的にもそんなに大きなものではないかというふうに考えますので、それはやっぱり松浦鉄道とやっぱり個別の対応というのが求められているのではないかとこのことを申し上げておきたいと思います。

以上です。

議 長（川副 善敬 君）

よろしいですかね。これで、40ページの議会費から70ページの監査委員費までの質疑を終わります。

次に、70ページの民生費から100ページの労働費までの質疑を行います。

2番。

2 番（浜野 亘 君）

ページ数がちょっと分からないんですけど、私が一般質問をしたときのワクチン接種の件で、令和3年度で上がっておりますので、テレビでは19日の週からということで報道がなされております。状況が変わった点をこの前の回答から現時点で報告をお願いしたいなというふうに思っています。

議 長（川副 善敬 君）

保険環境課長。

保険環境課長（安達 伸男 君）

状況が変わった点というところですけども、まず、予算的などころでいきますと、ページが分からないとおっしゃった部分につきましては、2年度の補正に組んで繰越しというふうにしていますので、この当初予算の中にはまだ何も出てきていない状況になっています。

ワクチン接種そのもので変わった点というところは、先日の一般質問の御回答で、ワクチンの届けられる数量ですとか、いつの週というところ以降の最新情報というのは、まだございません。

ただ、担当大臣のほうで、6月末までに国民の中のその65歳以上全員分を確保して、全市町村に配るというところの発言はありますが、それがいつ頃になるかというところはまだ示されておりませんので、状況的には先日お答えしたところと大きく変わっていないという状況でございます。

以上でございます。

議 長（川副 善敬 君）

これで、70ページ民生費から100ページ労働費までの質疑を終わります。

次に、101ページ農林水産業費から131ページ消防費までの質疑を行います。

いいですかね。

（「なし。」の声あり）

これで、101ページ農林水産業費から131ページ消防費までの質疑を終わります。

次に、131ページ教育費から175ページ予備費までの質疑を行います。

3番。

3 番（永田 勝美 君）

すみません。ちょっと事前の勉強会の中で確認ができなかった分が若干ありまして、いわゆる給付型奨学金の取組が、佐々町は規模的には小さいんですけども、かなり先駆的にやっているとこの給付型奨学金の制度を今後どうしていくのかと。今年度はどのような計画になっているのかということを含めて、今後、どうしていくのかについて御説明をお願いしたいと思います。

議長（川副 善敬 君）
教育次長。

教育次長（水本 淳一 君）

要綱等の作成を今、急ぎ整理をしておるところでございますけれども、先ほど前回の一般質問で教育長が述べましたように、県、大学生を含めた……、今度の制度ですよね。ごめんなさい。申し訳ございません。私が勘違いしておりました。

羽ばたけ奨学金につきましてですけれども、今回、当初予算からは骨格予算ということで今回これが入っておりませんが、2月、3月の審査会を経まして3名の方への毎年予算を計上させていただいておったんですが、新しい体制になりまして、また、再度検討して継続するかどうかの検討を含めまして進めてまいりたいと思っております。

以上です。

議長（川副 善敬 君）
3番。

3番（永田 勝美 君）

すみません。確認ですけれども、今年度は打ち切ったんですか。いや、今年度というか、令和2年度は3人でしたよね。令和3年度は、今のところなしということになるんですか。

議長（川副 善敬 君）
教育次長。

教育次長（水本 淳一 君）

当初予算の検討の折に、今回、令和3年度におきましては、骨格予算ということでございましたので、令和3年度中に再度検討して、どうするか方向性を定めたいと思っております。

以上です。

議長（川副 善敬 君）
これで、131ページ教育費から175ページ予備費までの質疑を終わります。
最後に、歳入歳出全般の総括質疑を行います。
5番。

5番（阿部 豊 君）

令和3年度、新年度予算におきましては、選挙を控えた骨格予算ということで経常経費等々の計上だというふうな認識をしておりますが、令和2年度の補正から含めて、新型コロナウイルス関連等の予算が上がっております。

勉強会の折に、私は確認させていただいたんですけども、職員の特殊勤務手当については課題があるということ、2期目、議員になってから訴えてまいりました。

今回、だいぶ前進していると、協議については伺っておりますが、特に、予算はこの新年度特殊勤務手当上げられていないという中で、感染症の防疫作業とかの関連もございまして。最前線で対応するという職員に際しましては、そういったもろもろの課題があるということで、今後、労働組合と協議をして課題がある点について改善をしていくというような勉強会での説明はあったんですけども、見通し的には、いつごろそういったものが条例化して、含めた改善が図られていくものなのかという点を1点確認をしたいと。

それと、これは質疑というか、3番議員も申されましたが、ホームページについては、これ意見も含めた話、内容なんですけども、やはり新たな施策、よい政策も住民の方に伝わる情報を入手しやすい状況をつくっていくというのは、非常に重要なポイントであります。

ツールの使用については、世代間差はあるというものの時代は情報化です。ホームページのみならず各種、今回予算のほうにも学生応援給付金というものも新年度予算に含まれております。全国津々浦々に佐々町の学生たちが勉強にいそしんでおられる中、こういったコロナの影響でということで、いい政策を提案されております。

もうこれも、やはりそういった対象者に伝わって手続きをしやすい状況をつくらなくてはいけないんじゃないかというふうに感じております。

原課は企画財政課ということで、課長のほうから改善の方向でというふうな御意見は頂きましたが、コロナ対応においては、2番議員もおっしゃられたそのワクチン接種に際しても、給付に際しても伝わらないといけないですね。

テレビ等々で情報を入手し、本町はどうなっているのかというのを今、情報を取りに行くのは、皆さん、お手元にあるスマートフォンやiPadというようなことで情報を取りに行く。原課のみならずの情報開示の改善の在り方は問われているのではないかと思いますので、その点は企画財政課長のみの改善の方向ということではなく、全庁的に考えていただきたいと。要望を込めた意見ではございますが、以上はお願いしておきたいというふうに思います。

議 長（川副 善敬 君）

ちょっと答弁の前に。5番議員の発言の中で、労働組合って言われたですけど、職員組合の間違いでしょう。（阿部議員「職員組合も労働組合も。」）一緒、ああそうね。すみません。そんなら、分かりました。確認しとかんばと。

総務課長。

総務課長（山本 勝憲 君）

すみません。今言われました特殊勤務手当の見直しの方向性ということで、時期はということでございましたけど、委員会のほうに御説明もさせていただいておりましたけど、令和3年度中にはぜひこちらについては整理をさせてもらいたいということで考えております。

また、デジタル化の部分について若干言われましたので、電算担当のほうの総務課のほうとしまして、今の状況ということでちょっとお話をさせていただきますと、国のほうも自治体DXいわゆるデジタルトランスフォーメーション、そちらのほうで推進計画で、自治体が重点的に取り組む事項ということで具体的に示されておりますけど、その中でオンライン申請の拡充とか、AIいわゆる人口知能とか、RPA業務プロセス化の自動化導入などについて推進することが求められておりますが、実際、そういう中で、マイナンバーカードを利用したオンライン申請について、ぴったりサービスについて、今回予算も、今回の補正予算で提案させていただいているところでございます。

今後、実際のところ進んでいこうかなと思っておりますけど、なにぶん、こちらにつきましては、やはり導入につきましては技術的、費用的な面もありますし、職員のスキルのなものも問題がございますので、全庁的な方向性を示しながら進めていく必要があるのかなということで考えております。

以上でございます。

議 長（川副 善敬 君）

5番。

5 番（阿部 豊 君）

令和3年度中にとりあえずは伺っておりました。しかしながら、先ほど言いました感染症防疫作業とかいうものは、もう目の前に現場で携わる職員も発生しようかと思えます。

予算が上がっていないという状況で、どういうふうに対応するのかというのが危惧する点もありますので、やはり不安なく住民のために作業ができるような対応は執行側は整えておくべきでありますので、早急に改善して、安心・安全に働いていただいで住民福祉に尽くしていただきたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

デジタル化については、私も長けたほうではございませぬ。ついていくのが必死で、今、子どもたちに1台タブレットということで、子どもたちのほうに詳しい場合があるんですよ、反対に。そういった状況で、私もついていくのが一生懸命ではございませぬが、時代についていくために懸命に頑張っております。

他市町村のほうに、情報がとりやすいという状況になく、佐々町が最新だというふうな環境をぜひとも確立していただきたいという要望をして、質問を終わりたいと思えます。

議 長（川副 善敬 君）

2番。

2 番（浜野 亘 君）

町長のほうにお願いをしたいと思えますけれども、まず、骨格予算の編成時の考え方ということで、予算説明書の朗読されまして、2ページのほうに書いてあるんですけれども、「無駄の排除による歳出削減に取り組み、財政健全化に努めます。令和3年度当初予算は骨格予算であり、義務的経費の経常的経費や継続事業、補助事業を主として編成しています」というようなことを朗読されましたけれども、まず、この考え方について、歳出削減について指示を、職員、課長等に指示をされたのかどうか、お尋ねをしたいと思えます。

議 長（川副 善敬 君）

町長。

町 長（古庄 剛 君）

今、浜野議員がおっしゃったように、今、歳出削減といひますか、やらなきゃならないということではお願いをしているんですけど、今、御存じのとおり、4大事業といひますか、大きい事業が控えているわけです。その中で、やはり極力歳出はできるだけ削減をしなければならず、ということは財政課にも指示してございませぬし、それから、ことしが骨格予算ということで、やはり経常的なものと主に、それから、補助金が経済的につくものは、やはり事業をやらなきゃならないと、続けて、連続してやらなきゃならないということがありますので、そういうことを注意しながら私は予算編成を行ったつもりでございませぬけど、歳出削減については予算はありますけど、それより歳出は予算が組んでございませぬけど、その中でもやはり歳出の削減といひるのは、削減っていいひますか、やらなきゃならないと。削減っていいひますか、辛抱してやるところはやっていかなきゃならないんじゃないかとはいひますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）

2番。

2 番（浜野 亘 君）

町長の気持ちは分かりましたですけども、広報さぎの2019年2月号4ページに記載している文面を朗読してみたいと思いますが、これは財政の削減、歳出削減について書いてあります。

「今後、佐々町においても、人口増加が見込めない中、高齢化が進みます。税金が頭打ちになる反面、社会保障費などの負担が増える、ということです。これを放置すれば、皆さまが受けているサービスを縮小していかなければなりません。こうならないよう、今後の行政運営は、出来るだけコストを削減して、かつ、社会保障費を賄う財源、つまり経済を活性化させて得られる税金を増やしていく必要があります。」と記載されております。

町長が考えられておることが職員に浸透しないで、職員との温度差があるように感じますので具体的に申し上げます。

令和3年度当初予算で、町税4税の税金について、令和2年度と比較して2,084万9,000円の減額です。これは令和3年度から土地評価を路線価に切り換えたことによる固定資産税の減額が大きな要因です。

予算書のページ44ページの2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の10節消耗品費と11節の役務費の中の通信運搬費について、勉強会の折申し上げましたので、報告が上がっているかと思います。今年度と比較して、それぞれ100万円以上の予算が増額となっております。

また、79ページの3款民生費、2項児童福祉費、12節委託料の中の学童保育委託料について、178ページの債務負担行為額と支出予定額等に関する調書を御覧ください。178ページを見ていただければと思います。

下から2行目、2段目っていいですか。放課後児童健全育成事業運営委託料、限度額が1億1,945万円ということで、令和元年度から令和3年度までの事業の債務負担を上げられておまして、今年度が3,996万円ということで支出予定額となっております。

予算書を見ますと、今までに支出した金額、限度額の1億1,945万円から令和元年度と2年度で歳出予定7,801万7,000円。それを差し引いた金額4,143万3,000円となっております。予算書の中で。

限度額を超え、予定額を超えてしているという考え方で、これは総務厚生委員会の中で申し上げましたけども、支出がしすぎじゃないかということで、申し上げてお分かりだと思っておりますけども、令和元年度の予算時に1,200万円でしたっけ、1,700万円、増額されたんですよ、この予算を組むときに。支出負担行為をするときに。単年度の増額分が、前年度に比較して1,700万円増えたので、おかしいではないかという見込みながら予算は通ってきて、最終的には、限度額いっぱい支払おうとされているんですけども、予算は。でも、支出見込み額は3,996万なんですよ。

こういう考え方で、何かその業者さんに借りがあるのかなと疑ってしまうわけですよ。予算限度額認めてあるから、全額やろうとされているような状況なんですよ、もう関係なしに。

だから、町長が考えられているとおりに、職員は削減しようと考えていないということをお願いしているわけです。そのことについて、回答をお願いしたいと思います。総務のほうの消耗品と役務費の考え方。消耗品は、今年度計画書の策定で結構印刷をしましたよね。コピーをいたしました。私たちにも資料を頂きました。その関係で今年度増えているので、じゃあ令和3年度も増えるんじゃないかという見込みで、これで骨格予算と言えるんでしょうかということなんです。

議 長（川副 善敬 君）

町長。

町 長（古庄 剛 君）

私は予算の、当初予算要求の具体的ということで、私は限りある財源の中で、やはり活用する、有効に活用しなさいということで、選択とか、いろいろなしながら十分節約してくれということで、これ当初予算のとき文書を出して、各課課長さんにもお願いしているわけでございます。

それから、そういうことで、私はそういうことで予算要求があったときに、そういう査定をさせていただいていると思っておりますし、全体的な査定、大きな査定を私がやるわけでございますけど、その消耗品的なものがちょっと全部やっていないんですけど、ここが中身がちょっと私が消耗品がどういう中身になっているのかというのは、各課長のほうから説明をさせていただかなければ、なかなかないわけでございますけど、こういう伸びがあるということは、これ何に、簡単ていうか、普通的な普通の消耗品的なものを要求しているのかどうかというのは、ちょっと中身を見なければちょっと私も分からないわけでございますけど、当初予算についてはそういうことで、文書を出して、各課に、各課長さんにもお願いをしているということでやっているわけでございます。

それから、もう一つは、学童保育の件ですけど、これは、債務負担行為が1億1,945万円あるわけですね。その中で全体を出して、今回は、どう言えばいいのかわからないですけど、支出予定額が3,996万円っていうことで出しているんですけど、予算上は4,143万3,000円と。あわせればよかったんでしょうけど、その余裕があるものですから、その分で上を出しているということで、これは、児童をお願いをするときには、新たをお願いするときには入札をするわけでしょう。入札をして、これをやって、たぶんこれが今限度額であるので、これから下に予定額でやってくるといけないかということを考えておまして、これが私がこれを見なかったというのが大変あれですけど、これで入札的にやっていくんじゃないかと。

ただ、この限度額っていうのは、これで間違っていることは言われないものですから、町としてはこういうことでお願いをしたということでございますので、よろしく願い申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）

担当課長から補足説明。

住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

すみません。今、町長からも答弁がありましたけれども、予算勉強会の折に、住民福祉課のほうから提示させていただいた予算の説明資料がありますけれども、そこにもちょっと書かせていただいていたんですけども、2番議員さん御指摘のとおり、178ページと79ページの金額に差があります。今回、79ページにありますように、4,143万3,000円の予算計上につきましては、毎年、国のほうの補助基準額の見直しがあり、増額があるものですから、債務負担行為の上限で予算を計上させていただいたということで、住民福祉課の資料にもそのように書かせていただいていたところでございます。よろしく願いいたします。

議 長（川副 善敬 君）

総務課長。

総務課長（山本 勝憲 君）

44ページになります。需用費の消耗品費と11節の役務費の通信運搬費、確かに増額させていただいております。

こちらにつきましては、議員おっしゃられたとおり、昨年度計画策定等でもろもろの印刷代が増えたことが影響しているのかなと思っておりますが、こちらにつきましては、今、実績という形で昨年の実績を勘案して予算要求させていただいたという形です。

当然、特殊要因を判断しながら予算を要求すべきではないかという御意見もあると思いますが、その特殊用品が幾ら必要だったかという部分につきまして、そこまではなかなか総務課のほうでも把握できませんで、令和2年度の実績という形で今回予算を計上させていただいていますので、よろしくお願いたしたいと思っておりますし、当然、議員おっしゃるとおり、コピー用紙や電話代などの節約意識というのは当然必要だと思っておりますし、今年度で言えば、コピー機の使用が徐々に伸びておりましたので、そちらにつきましても安い印刷機のほうで印刷をお願いするというような細かいお話ですけど、そういうような努力は職員に節約を呼びかけまして、職員に意識づけを今後も続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

議長（川副 善敬 君）

2番。

2番（浜野 亘 君）

すみません。まず、最初の町長が指示を出したということなんですけど、勉強会の折に企画財政課長は、マイナスシーリングの文書は出していないという確認をとっておりますので、そこで、職員との温度差があるのかなと申し上げたんですよ。

そういうことの結果が増額、総務課の金額だけじゃなくて、ほかの課もそんな削減、一生懸命削減したかというのが見られなかったものですから、申し上げ、一例として総務課の予算を申し上げたところです。

書類は、文書は、一般的な文書で、予算の編成方針を出されたぐらいで、特段、気は使っていないんじゃないかなというふうに感じます。

それから、学童保育の件なんですけども、これ2年前にずっと遡ると、見積書を業者さんから頂いて、その金額以上にお支払いしようという意図があるから、国の補助基準額が上がったので上げてあげようって。最初の見積りは何だったんだろうかという話になるので、2年間して書類として出てきたのは、補助基準額内でやっていますというような、もう正当化させようとしている。私は、そういうことじゃなくて、一度も聞きにきたことないんですよ、その私が疑問点を課題を投げかけているにもかかわらず。その回答が、私たち議員ですよ。チェックするためにおるわけですから、そういうことを言ったら、資料として出てくるのが当たり前なのに、何もなかったから結果的に私が計算して出しましたけども、乖離が1,000万円ありましたですよ。そういうことをやられたら、節約って思わないじゃないですか。自分の財布だと思って、やはり住民の方から頂いて、預かっている税金を大切に使うなんて意識がないのかなというふうに思っています。もう意見です、最後は。

議長（川副 善敬 君）

町長。

町長（古庄 剛 君）

大変、申し訳ございません。私も予算編成のときに、令和3年度の歳入状況って非常に厳しいものが予想されるために経常経費のみならず、全ての事業において実施確認を行いながら歳出の抑制に努めることと、それから、物件費、維持補修費、補助費等については、令和元年度の決算額とか不用額、令和2年度の執行状況を見ながら所要額を算定するというようお願い

をしているわけです。

確かに、財政課長が言うように、私は数的に幾らというのは、減額をしてくれということは申さなかったんですけど、こういうことでありますので、やはり職員としてもこのコロナ禍で財政厳しいというのは、たぶん分かっていると思いますので、町としまして、今後ともやはり歳出削減には努めなきゃならないと思っていますし、先ほどの件については、我々もそういう回答をしなかったことに対しては大変申し訳なく思っていますし、それについては十分、今後気をつけてやらなきゃならないと思っていますので、よろしく願い申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）

担当課長からありますか。
住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

大変申し訳ございませんでした。

議 長（川副 善敬 君）

2番議員の質問に対しては、常にこの学童保育の件が上がっておりますので、担当課長も2番議員の了解を得るように、そこら辺はお互い資料を提出して、2番議員に説明をするなり機会を設けて、そこら辺の説明をお願いしたいと思います。

1番。

1 番（須藤 敏規 君）

きのうは、小学校の卒業式で、コロナの関係で出られず、教育長さんの告辞とか、町長さんの祝辞を読ませていただきました。素晴らしいことを言っておられます。

先生は、俳優の大泉洋さんの例えを唱えて告辞をなさっております。町長は、かの有名な教育者の吉田松陰先生の言葉を唱えて、素晴らしいことをおっしゃっておりました。

一つ紹介します。「常に目標を持ち、夢を持ってほしい」ということですね。素晴らしい。私、この年になってから感動しております。ということでお尋ねしていきますけど、常に目標を持って、夢を持って。

今回の一般会計予算をずっと勉強会から見てまいりました。やはり端々に、財政課長の苦勞が、ただいま財政課しておりましたけど見えてきます。

ことしより一般財源とあれを表を作ってみましたら、一般財源が68%程度ありました。私も忘れちゃったけども。特定財源が31%ぐらい。あと自主財源と依存財源を分けてみましたら、今度逆に自主財源が37%ぐらい。依存財源は63%。

これを見ましても、先ほど来から言っておりました自主財源の確保、これは非常に難しい。税収を今、この佐々町で上げていいのかどうか。これはちょっと難しいなと思いますね。

あとは地方交付税、先日来から頂きました地方消費税の交付金、これにどの程度入ってくるか。今からこの2つの歳入が町政運営に影響してくるのではないかと私は思っております。これをうまく利用して進めてやっていただきたいと思います。

それから、もう1点。建設課長が勉強会、16日ですよ、おっしゃった公営住宅の使用料の利用料ですか、その使い道。住宅管理費で2,921万1,000円。住宅の使用料が1億2,100万円ほどあって、住宅管理費にそのうち24%程度しか使われていないという現状が、果たしてこれでもいいのかどうかというのを思いまして、広い意味で言えば、残った分は一般財源にしていいという考えがあるというのも承知しておりますけども、本来でしたら、住宅政策というのをどのように進めていくのかって考えれば、御存じのように里山住宅、牧崎住宅、これがほかに比べ

て非常にどうかなと考えた場合に、こういう政策を先に住宅使用料の中で対策をとるべきじゃないかと。今回は、骨格予算ですから、そう申しませんけれども、この12年間、町長になられて、そのまんま住宅には何も手をつけなかった。住宅マスタープランかなんか分かりませんが、建物、箱の物をきれいに塗装、塗装とそう何とか分かりませんが、それも必要でしょう。しかし、入った入居者に対しては、非常に見て、現実を見れば、買物に行くにしても、高齢者が多くて、里山の方が朝早く腰をかがめながら買物に行き、仕事が終わって坂道を上がっていく姿を見れば、ほかの住宅と比べたら、何とかしてやりたいと思うのが、やっぱり常じゃないでしょうかね。

どがんでしょうかね、町長、そこら辺は。今度は骨格予算だからいいですけど、それをやはり優先した政策の予算を計上すべきだと私は考えるわけですけど、いかがですか。

議 長（川副 善敬 君）
町長。

町 長（古庄 剛 君）

確かに住宅の使用料の二十何%しか公営住宅関係のあれに使っていないというのは、大変これはあまりにもちょっと少ないんじゃないかとは思っています。

しかし、それと言いますのは、もう一つは、いわゆる里山の公営住宅の建て替えていいですか、そういう計画もあるわけでございますので、これについて、やはり十分やっつけていかなきゃならないんじゃないかと思っておりますし、それから、我々が公営住宅の管理をしていたときには、まだ予算は、使用料に対して予算は管理の事業に使ったと思っております。これについて、やはり私もそこら辺をよく考えなくて、予算上やっていたものですから、そこをもう少し十分考えてやらなきゃならないと思っておりますし、それから、公営住宅の建て替え計画については、十分早くやっつけていかなきゃならないと。やはり高齢者の方がたくさん今、公営住宅に入っておられる。家賃が安くて、やはり公営住宅に入っておられる方もたくさんいらっしゃいます。しかし、その全体的にどこに振り替えるのかというのを十分今、検討しなきゃならないんじゃないかと思っておりますし、今後やはりどうするのかというのは、言われるとおり、考えていかなければならないんじゃないかと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それから、予算の全体的に今、お話がさっきありました。やはり自主財源が、大変乏しくなると。これは今からも自主財源が乏しくなるわけございまして、交付税がこれが増えるかという、これはもうやはり人口も減っていきますし、それから、コロナで企業対企業の収益も減るということは、国のほうからの交付税も減ってくるんじゃないかと思っておりますし、人口動態がどうなるか分かりません。

それから、税収もやはりコロナ禍で、やはり佐々町についても減ってくるんじゃないかと。なかなか厳しい局面に入るわけございまして、やはり自主財源をどんなに増やしていくのかということが、やはり町として、地方の自治体として問われてくるんじゃないかと思っておりますので、そこを十分考えながら、町政運営を今からやっつけていかなきゃならないんじゃないかと思っておりますので、新しい担当される方、それから、町議会議員の皆さん方新しくなられる、選挙あるわけございまして、そこら辺をずっと考えながら町政、町っていうのは運営していかなきゃならないんじゃないかと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）
1番。

1 番（須藤 敏規 君）

町長、検討の時期は12年間もあったんですよ。もう検討はしなくて結構ですから。要は、皆さんも必要ですけど、担当課のトップを抱えておられるんですから、課題は十分に知っておられるわけですから。

ですから、例えば、次、選挙があるわけですから、4年間だったら4年間に自分は何をするかを決めて、今4大事業と言われましたけど、そうはいかない、3つでよかとです。ごみとし尿と庁舎。あとは、順番に政策でやっていただければ結構なんですけど、やはり検討は、もう実行の段階を過ぎたから、また一から出直すということになりますから、それはもう言いませんけどですね。

4年間のスパンで何をやっていくか各課考えてしてもらわないと、総合計画もやっと作られたわけですから、その中から選んで、提案して、財政の予算を検討してもらって、町長が決定して進めていかないと。1年ごとでできた案件ごと見ていけば、全ていいことばかりですよ。しかし、財政を考えれば、みんなができないわけですから、4年スパンで結構ですから、次は、新しくまた頑張って、頑張って、計画をもって進めていただければと私は思います。

そして、もう1点は、デジタル化ですね。今、菅内閣がデジタル、デジタル言いますが、私は、もうそこよく分かりません。見えませんから、デジタルってよう分からんですけど。いいこともあれば悪いこともあるでしょうし、目が悪くなる子どもさんたちは、大変とか言いますが、時限的ですから、2年間っていう交付税の算定に入れてあるようですけども、一つは、1次産業とか、事業者、中小企業者を対象に計算式があるようですけど、もう一つは、高齢者とか、身体障害者の方です。そこに、どういうデジタル化をするっていう、その見えてこないわけですか、私。

それから、今の交付税の算定式で4億円近く増えていますから、何に使うのかなと思ってですね。今ある、それに近い費目のとを振り替えて、基準財政需要額に入れていくのか、改めて何をやろうとしているのか、全然見えません。分かっている範囲で結構ですので、このお金を使って何をなさろうとしているのか、再度お尋ねします。

議 長（川副 善敬 君）

町長。

町 長（古庄 剛 君）

こう増えているって言っても、まだ、きちっとしたことが分からないわけでございんですけど、やはり町としましては、デジタル化というのを進めていかなきゃならないと。

ただ、先ほども阿部議員さんからもおっしゃったように、まず、ホームページもやらなきゃならない、修正をですね。やってやはり、名前を一発出れば、必ずそこで分かるような感じですか。誰でも使いやすいようなホームページでも作らなきゃならないと。

ただ、今度交付税が増えるということで、これをどうするのかというのは、私としてはまだどうするのかというのは、やはり新たな方たちがどうするのかというのが決めるわけでございますので、私としては、どうするというのは、なかなか無理じゃないかと。どうするのかわつては言えないと思っていますから。

ただ、デジタル化は、どんどんどんどん進んでいく。ただ、お年寄りの方とか、我々も特に苦手な方向でございますので、そこら辺をやはり住民の方にどう浸透させていくのかっていうのは、今後やっていかなきゃならないんじゃないかとは思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

議 長（川副 善敬 君）
1 番。

1 番（須藤 敏規 君）

デジタル化のお金については、方向性は決まっていないと。

財政課長にお尋ねしますが、要するに、これは何もしなくてもくるわけですか。先ほど言いました高齢者人口とか、身障者関係の基礎数値があるわけですが、それで計算式でくるわけですか。こうデジタル化をしなくても、もらえるということですか。

単位費用で760円とかいろいろ書いてあって、よく分からなかったものですから。これはきて、それを別に使えば済むことであって。そこら辺だけで。

議 長（川副 善敬 君）
企画財政課長。

企画財政課長（藤永 大治 君）

議員おっしゃられますとおり、令和3年度の交付税から地域デジタル社会推進費というのが、地方財政計画の中で盛り込まれまして、国の予算ベースで約2,000億円が計上をされております。

ですので、これは、人口等に基づきまして算定されますので、その現時点では、そのまだ具体的な算出方法っていうのは分かっておりませんが、本町でもその分は一応は交付税の需要額の中で見込んでおります。

ですので、これを実際やったから普通交付税がもらえるのかももらえないかというところではないと思われまして。ある一定の算定に基づいて、例えば人口なら人口ということで算定に基づいて需要額の中に算入をされるということになっておりますので、ここは、ただ需要額に算入されるということであれば、そこについては、今後、本町としても推進していかなければならないとは考えております。

以上です。

議 長（川副 善敬 君）

これで歳入歳出全般の総括質疑を終わります。

これから討論を行います。

3 番。

3 番（永田 勝美 君）

反対の方があれば先に。賛成ですけどいいですか。

議 長（川副 善敬 君）

はい。反対討論が大体原則先やけん、反対討論ありますか。

（「なし。」の声あり）

そしたら、賛成討論。

3 番。

3 番（永田 勝美 君）

一般会計当初予算に賛成をいたします。

賛成の理由としては、特に、新型コロナ対策として、学生、専門学校生の世帯を対象とした学生応援給付金事業が予算化されたということは、非常に意義深いし、評価をしたいというふうに考えています。

特に、この間、新型コロナ対策については、かつてない事態への対応でありまして、今後に向けても積極的な感染防止と補償措置を求めたいというふうに思います。

この間、補正でも上げられておったPCR検査の拡充の問題、これを希望する町民への補助を出すという問題だとか、あるいは保育者への慰労金の制度、県内でも先駆的な取組になったんではないかなと思います。

ただ、なお困難を抱える町民の皆さんもおいでになるという状況であります。本当に、リーマンショックを上回る経済の縮小というのがあるわけですから、それが最もしわ寄せが出てくるのは、非正規だとか、低所得の方々のところに最も大きなしわ寄せが出るというのは、自明の理でありますから、そうした方々への対応というのは、とりわけきめ細かい対応を、支援を求めておきたいというふうに思います。

一方で、課題についても、この間、指摘をしてまいりました町内交通の整備の課題や、あるいは、保育所副食費の無償化の取組が、近隣自治体よりも立ち遅れているという問題。

それから、災害対策の取組について、専任担当者も置けないような人手不足。さらに、長時間の時間外労働が続く役場職員の働き方改革というのは、町民の暮らしにとっても、本当に急がれるべき課題であるというふうに思いますし、人材の確保・育成については、特段の取組を求めたいというふうに思います。

こうした今後の引き続き改善も期待しつつ、令和3年度佐々町一般会計当初予算に対する賛成の討論といたします。

以上です。

議 長（川副 善敬 君）

ほかに討論ありますか。

（「なし。」の声あり）

これで討論を終わります。

これから採決を行います。議案第21号 令和3年度佐々町一般会計予算は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決をしました。

しばらく休憩します。

（11時12分 休憩）

（11時25分 再開）

— 日程第3 議案第22号 令和3年度 佐々町国民健康保険特別会計予算 —

議長（川副 善敬 君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第3、議案第22号 令和3年度佐々町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

執行の説明を求めます。

保険環境課長。

保険環境課長（安達 伸男 君）

お開きいただきまして1ページを御覧ください。

第1表歳入歳出予算。歳入。

1款国民健康保険税、金額2億1,966万8,000円。1項国民健康保険税、同額でございます。

2款使用料及び手数料、金額20万円。1項手数料、同額でございます。

3款県支出金、金額10億4,409万6,000円。1項県補助金、同額でございます。

4款財産収入、金額2,000円。1項財産運用収入、同額でございます。

5款繰入金、金額1億2,668万6,000円。1項他会計繰入金、同額でございます。

6款繰越金、金額1,000円。1項繰越金、同額でございます。

7款諸収入、金額31万円。1項延滞金、加算金及び過料2,000円。2項預金利子1,000円。3項雑入30万7,000円。

歳入合計、13億9,096万3,000円。

次のページ、歳出を御覧ください。

1款総務費、金額908万7,000円。1項総務管理費、620万6,000円。2項徴税費267万4,000円。

3項運営協議会費20万7,000円。

2款保険給付費、金額10億173万6,000円。1項療養諸費8億6,282万9,000円。2項高額療養費1億3,034万1,000円。3項移送費2,000円、4項出産育児諸費756万4,000円。5項葬祭諸費60万円。6項傷病手当金40万円。

3款国民健康保険事業費納付金、金額3億5,153万6,000円。1項医療給付費分2億6,114万6,000円。2項後期高齢者支援金等分6,488万9,000円。3項介護納付金分2,550万1,000円。

4款保健事業費、金額2,381万3,000円。1項保健事業費、同額でございます。

5款基金積立金3,000円。1項基金積立金、同額でございます。

6款公債費、金額3万4,000円。1項公債費、同額でございます。

7款諸支出金、金額102万3,000円。1項償還金及び還付加算金、同額でございます。

8款予備費、金額373万1,000円、1項予備費、同額でございます。

歳出合計、13億9,096万3,000円。

以上でございます。よろしく願いいたします。

議長（川副 善敬 君）

これから質疑を行います。

3番。

3番（永田 勝美 君）

ただいま提案のあった国民健康保険税の令和3年度予算の中で、これまでずっと増えてまいりました国民健康保険税の事業費納付金が、今年、予算では2,700万円余りの減額というふうになっておりますけれども、この背景と今後の見通しについて、お伺いしたいと思います。

先般の12月議会の中で、国保の財政見通しが示されておりましたが、それと比較して、今後

どういふふうになる見通しなのか。

さらにもう1点言いますと、給付費、一般療養給付費が前年度の当初が、今年度の当初と比較すると2,000万円ほどのマイナスというふうになっておりますので、このあたりについても少し説明をいただければというふうに思います。

議長（川副 善敬 君）

保険環境課長。

保険環境課長（安達 伸男 君）

まず1点目の事業費納付金のことについてですけれども、年々増加しておった納付金が、今年度は下がっているという要因といたしまして、まず、納付金を決めるにあたりまして、県全体、県のほうが主導という形になりますが、県全体の給付費の見込みというのが、まず県のほうで出されます。その給付費に応じて、各市町の納付金が決定されるという仕組みになっておりますが、この給付費を見込むときにあたりまして、当然、受診控え等々で給付費が減になるというところの見込みはもともとあろうかと思いますが、その見込み幅をどうするかというところで、数回にわたって県と県内全市町、様々協議をいたしました結果、納付金の額が下がるような給付の見込みというところで決定をしたというところでございまして、結果的に3年度の納付金は、県内全体ですけども、佐々町についても減少となったというところでございます。

ただ、2点目の給付費のところでございます。

一応、県全体の給付費の見込みというのは、協議の結果、減少という見込みに落ち着いたとこでございますけれども、佐々町に限って言いますと、3月補正のときでも御説明をいたしましたとおり、給付は下がっておりません。ですので、これが3年度どのようになっているかというのは見えないところではございますけれども、給付のほうは佐々町の給付に対して納付金が決定されるわけではございませんので、県全体の給付がどうなのかというところで納付金の算定は見込む必要がございます。

一応、県全体の給付が下がっておりますので、佐々町の給付も若干下がるという見込みにはしておりますが、もしかすると、今年度みたいに下がるのがなければ、途中で増額の補正をする必要も生じるかもしれませんが、そのところはちょっと見えないという部分でございます。

以上でございます。

議長（川副 善敬 君）

3番。

3番（永田 勝美 君）

給付費が令和2年度の見込みで増えそうだということで、その内容としては、いわゆる外来の通院控えではなくて、入院費の増ということでありまして。その特徴というのこれから分析ということになるんだと思うんですけども、先ほどの質問に1点答えられていないところがありました。その12月議会の際に示されておった見通しと比較をして、国保財政の年度末見通し、年度末っていいですか、令和3年度末の見通しがどういふふうになるのかということについても分かる範囲で結構ですので、お答えいただきたいと思っております。

議長（川副 善敬 君）

保険環境課長。

保険環境課長（安達 伸男 君）

申し訳ございません。1点、回答を漏らしておりました。

12月の議会のときに、税率改正の折にお示ししました国保財政の見通しと、今回の当初予算での比較というところで行きますと、国保財政そのもの、12月に御提案したときは、このままいくと赤字で、おおむね5,000万円から5,500万円ぐらいが単年度収支が赤字になるというところで、それぐらいの基金の取り崩しをやっていかないといけないけれども、基金が途中で枯渇するというふうな御説明をしておったところです。

3年度につきましては、その12月時点で申しておりました5,000万円を超える赤字というところがございまして、納付金が下がった関係、それと県全体の給付が減るところで、うちの佐々町の給付のほうも若干下げというふうな予算だてにしておりますので、12月のときにお示したときよりは、今年度の当初予算はかなり改善をした形の予算ということにはなっております。

ただ、この納付金につきまして、県内全体で決めたとはいえ、もしもこの給付の見込み、県内全体の給付の見込みがこのとおりではなくて、そこまで下がらなかった場合ってというのは、ということに起因して3年度の納付金が足りなかったということにもしなった場合は、4年度以降の納付金に影響が生じるというところは、少し含んでおるのかなというふうに佐々町としては思っているところがございます。

以上でございます。

議 長（川副 善敬 君）

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

これで討論を終わります。

これから採決を行います。議案第22号 令和3年度佐々町国民健康保険特別会計予算は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決しました。

— 日程第4 議案第23号 令和3年度 佐々町介護保険特別会計予算 —

議 長（川副 善敬 君）

日程第4、議案第23号 令和3年度佐々町介護保険特別会計予算を議題とします。

執行の説明を求めます。

住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

すみません。それでは、議案第23号の1ページを、1枚めくっていただければというふうに思います。

第1表、歳入歳出予算（保険事業勘定）。歳入。

1款保険料、金額2億4,560万9,000円。1項介護保険料、金額、同額です。

2 款使用料及び手数料、金額3万円。1 項手数料、同額です。

3 款国庫支出金、金額2億8,163万9,000円。1 項国庫負担金2億1,121万4,000円。2 項国庫補助金、金額7,042万5,000円。

4 款支払基金交付金、金額3億2,745万4,000円。1 項支払基金交付金、金額、同額です。

5 款県支出金、金額1億8,497万5,000円。1 項県負担金、金額1億7,922万8,000円。2 項県補助金、金額574万7,000円。

6 款繰入金、金額2億2,315万円。1 項一般会計繰入金、金額1億8,885万9,000円。2 項基金繰入金、金額2,400万円。3 項他会計繰入金、金額1,029万1,000円。

7 款繰越金、金額2,000円。1 項繰越金、金額、同額です。

8 款諸収入、金額52万5,000円。1 項延滞金、加算金及び過料2,000円。2 項預金利子、金額1,000円。3 項雑入52万2,000円。

9 款財産収入、金額2,000円。1 項財産運用収入、金額、同額です。

歳入合計、12億6,338万6,000円。

次の2ページになります。歳出です。

1 款総務費、金額1,552万7,000円。1 項総務管理費、金額240万8,000円。2 項徴収費、金額108万8,000円。3 項介護認定審査会費、金額1,203万1,000円。

2 款保険給付費、金額12億136万2,000円、1 項介護サービス等諸費、金額10億8,651万8,000円。2 項介護予防サービス等諸費、金額2,582万7,000円、3 項その他諸費、金額93万8,000円。

4 項高額介護サービス等費、金額3,042万5,000円。5 項高額医療合算介護サービス等費、金額250万円。6 項特定入所者介護サービス等費、金額5,515万4,000円。

3 款財政安定化基金拠出費、金額1,000円、1 項財政安定化基金拠出金、金額、同額です。

4 款基金積立金、金額3,000円。1 項基金積立金、金額、同額です。

5 款地域支援事業費、金額4,470万1,000円。1 項介護予防・生活支援サービス事業費、金額985万8,000円。2 項一般介護予防事業費、金額1,240万5,000円。3 項包括的支援事業・任意事業費、金額2,243万6,000円。4 項その他諸費、金額2,000円。

6 款公債費、金額8万3,000円。1 項公債費、金額、同額です。

7 款諸支出金、金額20万1,000円。1 項償還金及び還付加算金、金額20万1,000円。

8 款予備費、金額150万8,000円。1 項予備費、金額、同額です。

歳出合計、12億6,338万6,000円。

次のページです。すみません、3ページをお願いします。

第1表歳入歳出予算（サービス事業勘定）。歳入。

1 款サービス収入、金額254万8,000円。1 項予防給付費収入、金額、同額です。

2 款繰入金、金額380万3,000円。1 項一般会計繰入金、金額、同額です。

3 款繰越金、金額1,000円。1 項繰越金、同額です。

歳入合計、635万2,000円。

歳出。

1 款事業費、金額632万9,000円。1 項包括的支援事業費、金額、同額です。

2 款予備費、金額2万3,000円。1 項予備費、金額、同額です。

歳出合計、635万2,000円。

以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

議 長（川副 善敬 君）

これから質疑を行います。

2 番。

2 番（浜野 亘 君）

21ページなんですけども、5款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費、1目同じなんですけども、確認なんですけど、今回18節の負担金、補助及び交付金で、住民主体による介護予防・生活支援サービス事業補助金というのが、「元気カフェ・ぷらっと」のほうに支出される予定ということですので、今までの使用料について、どういう処理をされるのかというところを確認しておきたいと思います。

今回、補助金が出る関係で、使用料をその団体さんが入れて、今まで活動されてきました。それから、運営委託料として予算を組んで出さないといけないと普通は思います。使用料については、町に収入を入れるべきだと、私の考えはそう思っています。補助金は補助金として、やっぱり経理を明確にしないといけないんじゃないかというふうに思いますので、補正で対応されるのかどうかの確認をしておきたいと思います。

議 長（川副 善敬 君）

住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

福祉センターを利用して活動していただいている住民主体による、いわゆる通いの場というふうなことになりますけれども、使用料については現時点では取る方向では考えておりません。以上でございます。

議 長（川副 善敬 君）

2番。

2 番（浜野 亘 君）

いや現時点で1回200円って取っているでしょう、そのことですよ。この前、勉強会のときに伺ったことで内容は御存じだと思ったんですけども、取って今から取らないという話、無料になるということなんでしょうか。

議 長（川副 善敬 君）

しばらく休憩します。

（11時46分 休憩）

（11時47分 再開）

議 長（川副 善敬 君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

すみません。勉強会のときにも御質問は頂いたんですけども、先ほど御答弁させていただいたように、現時点で福祉センターの使用料という形で取る予定は考えておりませんが、例えば、ぷらっとさんの活動について、これまで数年間対応してきておりますのは、総合福祉センター使用料条例というのがありますけれども、その使用料条例の中での使用料減免というふうな形でまず、ぷらっとさんの利用については利用料を取るというふうな形、使用料、福祉センターの使用に関する使用料を取るという形はとっておりません。

ただ、団体さんがボランティアというふうな形で、先ほど議員御指摘があった200円、そういったものは引き続き徴収をされるというようなことで、それは、お礼的な意味合いも兼ねた利用者の負担金というふうに私どもは整理をさせていただいているところでございます。

議 長（川副 善敬 君）
2番。

2 番（浜野 亘 君）

企画財政課長、そういう考えでいいんでしょうか。公の施設の中で、ある団体が料金を取っていいっていう。

そしたら、総務課長かもしれませんけど、総務課長ですかね。公共施設の行政財産の貸し出しについて、許可については。その辺についても、今の議論で終わっていいものかどうか。もうしないという方向で言われているので、私は町の施設を使われているんだったら、利用料は一般会計で使用料として受け入れて、そして、ふらっとさんの活動費については活動委託料かなんか、補助金なのかで出すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

議 長（川副 善敬 君）
しばらく休憩します。

（11時50分 休憩）

（11時55分 再開）

議 長（川副 善敬 君）
休憩前に引き続き会議を開きます。
住民福祉課長。

住民福祉課長（今道 晋次 君）

すみません。先ほどから現時点でというお話を、答弁をさせていただいておりますけれども、一応、行政財産の使用というふうな形での再度の整理をさせていただき、改めて御報告をさせていただければというふうに思います。

どうぞよろしく願いいたします。

議 長（川副 善敬 君）
よろしいですか、2番議員。
これで質疑を終わります。
これから討論を行います。

（「なし。」の声あり）

これから採決を行います。議案第23号 令和3年度佐々町介護保険特別会計予算は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

（「異議なし。」の声あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決しました。

以上で、本日の日程は全て終了しました。
本日はこれで散会します。
お疲れさまでした。

（11時56分 散会）